



じりつ「自律と自立」

指 宿 高 等 学 校

進路指導部 第 6 号

発行日 H30. 11. 8 (木)

10月から総合的な学習の「柏葉」において、1年生は社会問題プレゼン、2年生はI・s t y l e (分野別)に取り組んでいます。3年生においては、入試に向けて小論文指導、面接指導を受けている生徒もいます。今回は小論文の基本について確認していきましょう。

■ なぜ、小論文が大学入試で出題されるのか

小論文試験を課すことで、大学で学ぶための総合的な能力があるかどうかを判定することができます。つまり、希望する大学の学部・学科で学ぶために必要な「知識・理解力・分析力・構想力・表現力」があるかどうかを試すことが、小論文試験の目的です。したがって、受験生はペーパーテストだけでは示せないような「自分こそが、この大学・学部・学科に入るべき生徒である」ということをアピールできる重要な試験となります。

大学を卒業する際には、「卒業論文(卒論)」が必要になります。また、そこにたどり着くまでに、さまざまな講義(授業)でレポートを作成することになるでしょう。小論文試験は、受験生が卒論やレポートを作成できる基礎力や潜在能力があるかどうかを試す場でもあります。

■ 小論文とはどのような文章か

小論文とは、

課題で問われている事柄についての自分の意見を、
客観的に
論理的に

述べる文章です。

作文のように、自分の体験や気持ちなどの「主観的な要素」を述べるものではありません。

■ 小論文を書くときの4つのポイント

- ① 課題の要求に正確に答える
課題が何を問っているのかを正しくおさえる
- ② 自分なりの意見(主張)をはっきりと述べる
「私はこう考える」と主張する
- ③ 意見の根拠を筋道立てて述べる
自分は「なぜそう考えるのか」を説明する
- ④ 一貫した主張でまとめる
主張に矛盾が生じないようにする

※ 採点者が一番見たいところは、結論に至るまでの思考です。説得力のある内容で書くことが大切です。



■ 小論文に備えて今からできること

- ① 世の中の動きに目を向ける

普段から社会の動きに関心を持ち、新聞の見出しや気になる記事を読んだり、ニュースを見たりする習慣を身につけましょう。その際、「その問題にはどのような背景があるのか」「どうすれば解決へと導くことができるのか」ということを考える癖をつけましょう。

② 普段から書く癖を身につける

「向上の道」のコメント欄などを活用するのもいいですね。継続することで思考力、表現力が身につきます。社会の出来事や身の回りの出来事について感じたことを、簡潔に、できる限り漢字を使って書きましょう。また不適切な表現がないか、確認するようにしましょう。

③ 普段の教科の学習を大切にする

例えば、課題文を読む際には「国語」や「英語」で身につく読解力が、扱われるテーマの理解には「地歴公民」で学んだ知識が、理系の小論文では「理科」「保健」「家庭科」などの知識が生かされます。グラフの読み取りなど「数学」的な思考力も求められます。

■ 小論文を書くプロセス

① 課題の論点（テーマ）を正確に読み取る

「何について書くのか」をまず押さえる。

② 論点に対する自分の考えを明確にする

自分の意見をいろいろメモしてみて、最も強く主張したいと思うものを選ぶ。

③ 自分の主張の根拠を集める

自分に問いかけながら、できるだけいろいろな方向から考える。

自分の主張に対する他者からの疑問を予想し、それに対する意見を考える。

④ 文章全体の流れを考える

論点は何か、意見は明確か、論理に飛躍はないか。

⑤ 最適な段落構成を考える

〈目安〉400字→3段落 / 600字→3～4段落 / 800字→3～5段落

⑥ 小論文を書き、読み返し、推敲する

小論文に求められているのは、読み手を説得し、納得させる力です。文章全体が「意見」と「論拠（理由）」という構造になっていなければ、小論文ではありません。上記を参考にして、論理的に小論文を書くように練習してみましょう。

分析力や思考力などが必要とされるのは、小論文試験に限ったことではありません。センター試験などのペーパーテストでも、最近では、知識を問うだけでなく分析力や思考力が必要な問題が多くなってきています。小論文試験を受験しない人も、そういった力をつけるために取り組んでみてはどうでしょうか？



◆ A0入試・推薦入試受験について

～2年生は、志望理由書の作成を学年末考査後からの「柏葉」の時間に行います～

A0入試・推薦入試の準備が始まっています。準備にあたってのポイントをまとめてみました。

(1) 受験先の学校が知りたいこと = 「あなたの『過去』『現在』そして『未来』」

① 過去 あなたがこれまで頑張ってきたことは何ですか？

② 現在 今、あなたはなぜ他の学校ではなくこの学校を希望するのですか？
なぜこの学部・学科なのですか？

③ 未来 あなたの将来の夢は何ですか？目標は何ですか？
あなたの夢は社会とどう繋がっていますか？

これまでの自分、そして、将来の社会や自分のことに思いを巡らし、「将来何をしたいか？」
「どのように生きたいのか？」「そのために今何をしようとしているのか？」「何が必要なのか？」が、丁寧に答えられるようになりましょう。